

— ISOT・販促EXPOレポート

# 目立つ印刷会社の自社開発

第25回国際文具・紙製品展（ISOT）と第6回販促EXPOが7月9日から11日まで、東京ビッグサイトで開催された。印刷会社からも30社前後が出展し、自社開発の紙製品をさかんにアピールしていた。各ブースの提案を紹介する。



株SEIUNDO（大阪市）が提案しているのは自社のカタログのデザインを縮小し表紙に使ったメモ帳「カタログメモ帳」。表1から表4までもカラーで自社アピールでき、模擬カタログなので捨てられにくい。このほか同社では大規模総会の6割で採用されているワンタッチ入場票も手掛けている。



ノート型ホワイトボード「nu board」を自社開発した欧文印刷株（東京都文京区）。大ヒットを受け、線幅0.6mmの超極細ホワイトボードマーカーを添付したものや、バインダータイプ（B5判・A5判）などさまざまな種類の「nu board」が発売されている。



株マルモ印刷（香川県三豊市）の紙製品ブランド「ダックス」。厚さ1mmの段ボール・Gフルートのクラフト感を生かした卓上カレンダーやペン立て。カレンダーのスタンドやメモ帳の台紙の中が小物入れになっていたり、カレンダーの日付の欄内の切り込みを起こすと小さな旗の目印が飛び出るなどアイデア満載だ。



新日本カレンダーはマッチ箱の中に日付が入った付せん型のお香が入っており、日めくりとお香を同時に楽しむ「2かい目の紙のお香日めくり」を発表している。お香の裏面にも心をなごませるメッセージが入っている。日めくりカレンダー型のメモ帳やそれを4季に分けたメモ帳も提案している。